表題：小田原作業療法の研究　←MSPゴシック14pt，行間20pt中央揃え

サブタイトル　←（必要な場合）MSPゴシック11pt，行間16pt中央揃え

○国際太郎\*，小田原花子\*\*　←演者に○，\*（上付き）で所属を示す。MSPゴシック10.5pt，行間16pt，中央揃え

\*医療福祉病院リハビリテーション科，\*\*小田原大学作業分析学部　←所属の書式は上記氏名と同じ

1．はじめに　（小見出しはMSPゴシック10pt，行間15p）

抄録はA4サイズ1ページで，余白は上20mm，下・左・右は20mmとすること．

2.　表題

表題は1行に収まらない場合は2行にわたり記入すること．サブタイトルが無い場合は，該当行を空行とすること．

3.　演者と所属

演者・所属が2行となってもよい．ただしタイトル・演者・所属があわせて7行以内になるように注意すること．

4．本文の書き方

4．1　書式

本文のフォントは，全角文字はMSP明朝，半角英数字はTimes New Romanとし大きさは10pt，行間15ptとする．また，本文エリアは2段組，左揃えとする．本文の文字数は表題氏名所属を除いて片段20字×40行×2列＝1600字程度となるようにすること．

句読点は「，」「．」とする．

4．2　図の挿入方法

　図を挿入する場合，図番とタイトルを中央揃えで図の下に（見出しと同じ書式とする：MSPゴシック10pt，行間15pt）記載すること．

図1．本研究の図

　写真のサイズ（容量）やコントラストはあらかじめ調整し，ファイルサイズが大きくなりすぎないように注意すること．またカラーの図であっても，印刷ではモノクロとなる．

また図の挿入は片段ずつの挿入に限り，両段にまたがる挿入は認めない．

4．3　表の挿入方法

表を挿入する場合，表番とタイトルを中央揃えで，表の上に（見出しと同じ書式：MSPゴシック10pt，行間15pt）で記載すること．

また表の挿入は片段ずつの挿入に限り，両段にまたがる挿入は認めない．

表1．本研究の表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| A | B | C |
| 4.21±0.21 | 0.4±2.1 | 20.12±0.12 |
| 4.21±0.21 | 0.4±2.1 | 20.12±0.12 |

5．参考文献の書き方

　本文中の引用箇所には，文章の右肩に小括弧を付した番号1)，を記入し，本文末尾に番号順に記載すること．

参考文献

1) 小田原花子：北条氏と作業療法，小田原リハビリテーション学会誌，Vol.14，No.14，320-328，2010

2) 北条氏政：戦国時代のリハビリテーション，相模国作業療法学会誌，Vol.14，No.14，14-22，1570

3) …

（筆頭著者のメールアドレスが個人のプライベートアドレスの場合は任意です．）

　　　　　　　↓

------------------------------------------------------------

国際太郎　（筆頭著者の所属連絡先です）

医療福祉病院リハビリテーション科

〒250-0852 神奈川県小田原市城山1-2-25

e-mail：taro-kokusai@iuhw.ac.jp

TEL：0465 (21) 6722（直通）